

# 環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年4月～2024年3月】

株式会社両毛資源開発



## < 目次 >

1. 環境経営方針	1
2. 事業活動の規模	2
3. エコアクション21の推進体制	6
4. 環境経営目標および環境経営計画	7
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認 違反、訴訟等の有無	10
6. 代表者による全体の取組状況の評価 および見直しの結果	11



## 環境経営方針

当社は、設立以来守り続けている「この大自然を次世代へ継承する」を念頭に、環境問題と直接結びつきのある産業廃棄物の収集運搬業および中間処理業を通じて、積極的に環境経営に取り組み、継続的な環境負荷の削減を目指し、限りある資源の継続的利用や大自然の保護を、今の時代を生きる私たちの責務と認識し、次世代へ、またその先の世代へと繋がる環境活動に取り組んでまいります。

1. 環境経営システムを活用し、エコドライブの実践や使用電力削減など、継続的な環境負荷の削減に努めます。
2. 当社に適用される環境関係の法規則等を遵守します。
3. 環境と経済の両立を実現する環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
4. 当社の許可である選別処理を最大限に生かし、廃棄物が再生可能な資源となるようリサイクル率向上のための人材育成を計画的に実施します。
5. 業界のイメージ向上のため、車両や設備、構内等の美化に努めます。

この環境方針は全従業員に周知し、ひとりひとりの環境意識の高揚を図ります。

制定：2019年 4月 1日

改定：2020年 4月 6日

株式会社 両毛資源開発

代表取締役 須田 昇

## 2.事業活動の規模

### 〔1〕事業所情報

事業所名：株式会社 両毛資源開発  
 代表者名：代表取締役 須田 昇  
 住所：・本社 〒376-0011  
 群馬県桐生市相生町三丁目547番地の1  
 ・足利営業所 〒326-0826  
 栃木県足利市借宿町483-1  
 設立年月日：平成8年3月28日  
 資本金：1,200万円

### 〔2〕環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境経営最高責任者：代表取締役 須田 昇  
 環境経営管理責任者：長岡 重幸  
 事務局：久保田 修

### 〔3〕対象範囲

全組織および全活動

### 〔4〕事業活動

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、建物の解体、古物商  
 損害保険代理店業、一般貨物自動車運送業

### 〔5〕事業規模

	単位	2021年 4月～2022年 3月	2022年 4月～2023年 3月	2023年 4月～2024年 3月	備考
従業員数	人	36	33	33	
売上高	千円	900,134	856,452	817,571	
産廃及び一廃 解体 その他	千円	770,915	753,116	693,379	
	千円	128,323	101,904	122,895	
	千円	896	1,432	1,297	
床面積	m <sup>2</sup>	2,384	2,384	2,384	
本社事務所 処理施設A 処理施設B 処理施設C 足利事務所	m <sup>2</sup>	204	204	204	
	m <sup>2</sup>	490	490	490	
	m <sup>2</sup>	746	746	746	
	m <sup>2</sup>	895	895	895	
	m <sup>2</sup>	49	49	49	
車両台数(運搬車両)	台	31	31	31	
走行距離	k m	407,872	394,343	384,036	
収集運搬量	t	14,176	13,095	12,331	
産廃 一廃	t	12,193	11,133	10,486	
	t	1,983	1,962	1,845	
産廃取扱量	t	15,218	13,749	12,985	
受入量 処分量 再資源化等 埋立	t	15,218	13,749	12,985	
	t	15,218	13,749	12,985	
	t	11,324	8,954	9,215	
	t	3,894	4,793	3,770	
リサイクル率	%	74.41	65.12	70.97	
工事請負数	件	95	122	96	
元請 下請	件	28	36	25	
	件	67	86	71	

[6] 許可情報

◆産業廃棄物

都道府県	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	普通															特管		
			燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉱さい	がれき類	ばいじん	引火性廃油
収集運搬	群馬県	01010045295	2021.04.27 2028.04.26	○	◎	○	○	○	★	○	○	○	○	○	◎	★	○	●	○	—
		積替え保管	—	◎	—	—	—	★	—	—	—	—	—	◎	★	—	●	—	—	
	宮城県	00400045295	2022.07.12 2029.04.19	—	●	—	—	—	★	○	○	○	—	—	◎	★	—	●	—	—
	茨城県	00801045295	2022.12.20 2029.11.01	—	○	○	—	—	●	○	○	○	—	—	◎	●	—	●	—	—
	栃木県	00900045295	2021.09.08 2028.09.07	○	●	○	○	○	★	○	○	○	○	○	◎	★	○	●	○	—
	埼玉県	01104045295	2022.06.06 2029.02.15	○	★	○	○	○	★	○	○	○	○	—	◎	★	○	●	—	—
	千葉県	01200045295	2019.11.14 2024.11.13	—	○	○	—	—	★	○	○	○	—	—	◎	★	—	●	—	—
	東京都	1300045295	2021.12.26 2028.12.25	—	●	○	○	○	★	○	○	○	○	○	◎	★	—	●	—	—
長野県	2009045295	2021.08.25 2028.08.24	○	●	○	—	—	★	○	○	○	—	—	◎	★	○	●	○	—	
特管取運	栃木県	00950045295	2022.10.24 2029.10.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	群馬県	01050045295	2022.11.14 2029.11.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	埼玉県	01150045295	2022.11.2 2029.10.22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
処分	群馬県	01020045295	2021.04.27 2028.04.26	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—

- ★ 石綿含有産業廃棄物および水銀使用製品産業廃棄物を含む
- 石綿含有産業廃棄物を含む
- ◎ 水銀使用製品産業廃棄物を含む

◆一般廃棄物（収集運搬）

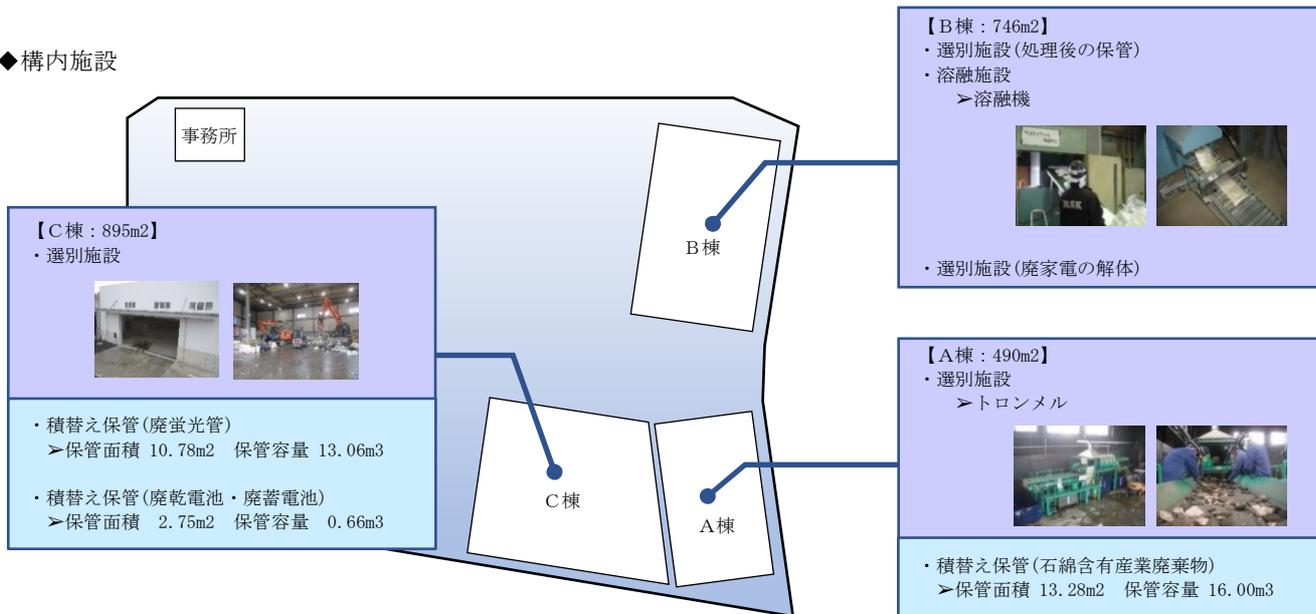
許可地区	許可番号	許可年月日 有効年月日	廃棄物の種類等
桐生市	第18号	2022.01.01 2023.12.31	可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ
みどり市	第32号	2022.04.01 2024.03.31	可燃ごみ・不燃ごみ
太田市	76	2022.04.01 2024.03.31	可燃ごみ・不燃ごみ
伊勢崎市	104	2022.12.01 2024.11.30	可燃ごみ・不燃ごみ
前橋市	第282号	2023.05.27 2025.05.26	可燃ごみ・不燃ごみ
足利市	第57号	2022.07.05 2024.07.04	可燃ごみ・不燃ごみ

◆その他

- ・建設業 第23200号 2023年 9月 6日から 2028年 9月 5日まで
- ・古物商 第421140018600号
- ・損保代理店業
- ・一般貨物自動車運送業

[7] 施設情報

◆構内施設



施設名称	選別施設(A棟、B棟、C棟)				溶融施設(B棟)				選別施設：廃家電製品の解体(B棟)			
処理方式	スクリーン方式 トロンメル、磁選機、コンベアー				熱溶融方式 溶融機、投入機				人力による分解、解体			
設置年月日	2008年9月19日				2008年9月19日				2008年9月19日			
処理能力	64.0m <sup>3</sup> /日(32.0t/日)				64.0m <sup>3</sup> /日(0.32t/日)				8.0m <sup>3</sup> /日(2.4t/日)			
保管量	種類		保管面積	保管容量	種類		保管面積	保管容量	種類		保管面積	保管容量
	処理前	混合物	67.26	67.60	処理前	廃プラスチック類	9.00	6.75	処理前	混合物	1.87	2.24
		廃プラスチック類	155.90	158.70		廃プラスチック類	1.00	1.00		廃プラスチック類	1.87	2.24
	処理後	紙くず	2.64	3.30	処理後				処理後	金属くず	1.87	2.24
		木くず	90.80	90.80						ガラス・コンクリート 陶磁器くず	1.87	2.24
		繊維くず	21.12	40.26								
		金属くず	2.64	3.30								
		ガラス・コンクリート 陶磁器くず	68.51	79.85								
		がれき類	68.70	66.80								
合計		410.31	443.01	合計		1.00	1.00	合計		5.61	6.72	
高さ	2.0m				1.45m				2.5m			
処理工程図												

◆保有設備

名称	台数
バックホウ 3t(0.1)	1
バックホウ 5t(0.2)	1
バックホウ 7t(0.25)	1
バックホウ12t(0.45)	3
ホイローダー	1
ショベルローダー	1
フォークリフト	7

名称	台数	名称	台数
運搬車両	2 t	アームローラー車	2 t
	4 t		4 t
	大型	大型	6
ユニック車	2 t	その他	2 t
	大型		4 t
清掃車	4 t	その他	1
	大型		

2024年3月現在

## 〔9〕 処理実績

## ◆収集運搬量

単位:kg

種類	2023.04	2023.05	2023.06	2023.07	2023.08	2023.09	2023.10	2023.11	2023.12	2024.01	2024.02	2024.03	合計
燃え殻	0	0	0	0	2,230	0	0	16,170	0	1,220	2,320	0	21,940
汚泥	8,290	3,450	11,900	6,700	7,670	7,700	8,870	6,510	5,510	10,080	7,050	4,030	87,760
廃油	200	900	1,850	840	1,370	1,130	600	1,550	1,300	0	2,080	1,060	12,880
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	277,589	218,023	289,686	226,589	230,033	274,774	229,268	282,436	273,564	193,612	228,073	243,514	2,967,161
紙くず	1,340	2,040	1,035	1,580	1,640	755	1,100	1,650	1,463	1,210	2,355	2,065	18,233
木くず	52,540	92,170	142,240	172,139	71,490	159,637	76,740	115,094	112,903	43,334	80,998	71,837	1,191,122
繊維くず	11,420	12,720	17,620	14,512	6,380	16,000	16,510	6,180	9,700	6,950	6,690	6,970	131,652
動植物性残さ	0	0	0	800	2,770	0	4,070	920	2,810	0	910	1,060	13,340
金属くず	24,170	13,592	27,140	51,170	13,106	16,402	16,649	16,378	14,759	16,305	32,361	24,982	267,014
ガラス、コンクリート、陶磁器	151,940	64,130	113,313	37,546	55,945	97,348	64,902	45,220	96,790	45,828	92,710	92,399	958,071
鉱さい	0	5,990	0	1,070	1,600	3,290	0	2,810	0	2,330	3,290	2,230	22,610
がれき類	61,200	508,800	323,790	694,790	157,420	352,250	206,740	506,141	385,129	137,990	281,970	313,959	3,930,179
石綿含有産業廃棄物	1,160	10,700	17,105	32,330	12,660	14,820	3,970	4,150	1,530	1,620	3,500	2,560	106,105
水銀使用製品産業廃棄物	140	104	576	291	291	430	540	389	879	740	511	505	5,396
混合物	52,235	51,613	60,002	124,890	43,036	73,592	48,729	45,380	61,955	41,770	67,890	81,604	752,696
合計	642,224	984,232	1,006,257	1,365,247	607,641	1,018,128	678,688	1,050,978	968,292	502,989	812,708	848,775	10,486,159

## ◆処分量

単位:kg

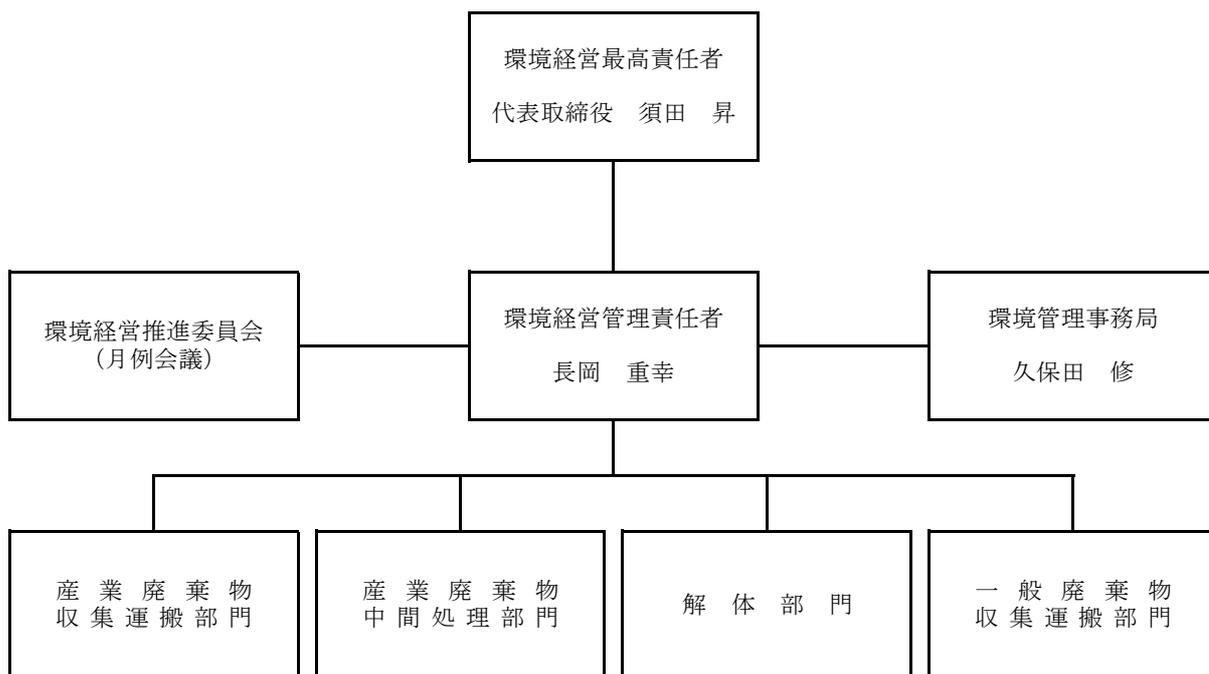
種類	処分方法	2023.04	2023.05	2023.06	2023.07	2023.08	2023.09	2023.10	2023.11	2023.12	2024.01	2024.02	2024.03	合計
混合物	受入量	995,018	1,116,654	1,282,951	1,435,555	883,056	1,096,608	1,199,492	1,173,789	1,127,990	720,873	1,009,461	944,292	12,985,739
	選別	995,018	1,116,654	1,282,951	1,435,555	883,056	1,096,608	1,199,492	1,173,789	1,127,990	720,873	1,009,461	944,292	12,985,739
廃プラスチック類	受入量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	溶融	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		995,018	1,116,654	1,282,951	1,435,555	883,056	1,096,608	1,199,492	1,173,789	1,127,990	720,873	1,009,461	944,292	12,985,739

## ◆中間処理後の産業廃棄物排出量

単位:kg

種類	処分方法	2023.04	2023.05	2023.06	2023.07	2023.08	2023.09	2023.10	2023.11	2023.12	2024.01	2024.02	2024.03	合計
廃プラスチック類	焼却	94,043	55,240	83,152	86,745	80,712	64,768	94,529	75,937	91,233	72,739	74,754	78,441	952,293
	破砕	107,365	88,763	89,221	84,426	79,516	95,205	98,509	86,978	90,773	59,305	84,613	88,400	1,053,074
	埋立	105,680	107,531	141,230	116,718	133,477	108,720	110,033	130,307	125,073	79,122	121,199	83,392	1,362,482
	売却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	焼却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	売却	930	1,290	60	1,020	1,240	90	510	930	1,358	670	2,100	1,890	12,088
木くず	破砕	69,790	110,509	169,190	179,664	100,160	181,727	131,820	153,744	156,663	69,954	123,418	94,607	1,541,246
	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	破砕	8,150	11,832	13,276	7,692	6,960	9,330	11,040	4,970	5,190	7,740	4,220	9,640	100,040
	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	売却	31,683	20,302	36,330	58,510	31,376	27,593	33,289	26,483	22,609	26,163	42,279	34,235	390,852
	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス コンクリート 陶磁器	破砕	279,770	228,590	270,450	197,930	240,445	275,454	310,050	245,415	252,930	164,740	265,880	221,579	2,953,233
	埋立	51,240	29,597	38,773	35,101	40,447	36,039	36,128	31,504	31,019	24,100	34,658	49,760	438,366
がれき類	破砕	55,660	225,600	195,760	381,940	80,920	156,910	216,610	283,491	218,249	96,830	144,270	156,019	2,212,259
	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物 (残さ)	破砕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埋立	190,707	237,400	245,509	285,809	87,803	140,772	156,974	134,030	132,893	119,510	112,070	126,329	1,969,806
合計		995,018	1,116,654	1,282,951	1,435,555	883,056	1,096,608	1,199,492	1,173,789	1,127,990	720,873	1,009,461	944,292	12,985,739

### 3.エコアクション21の推進体制



職 名	役 割
環境経営最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針を策定する。</li> <li>エコアクション21に必要な資源(人・物・金)を調達する。</li> <li>環境経営管理責任者を見直しする。</li> <li>エコアクション21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を出す。</li> </ul>
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムを構築し、維持する。</li> <li>環境経営システムの構築・運用状況を環境経営最高責任者に報告する。</li> <li>環境経営レポートをとりまとめる。</li> <li>環境経営推進委員会を開催する。</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営管理責任者の事務的業務を担う。</li> <li>文書、記録の管理</li> <li>環境経営方針を従業員に周知する。</li> <li>活動全般の補佐</li> </ul>
環境経営推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として毎月1回開催し、実施状況の確認と必要な措置を検討する。</li> <li>全体的な見直しのために必要なデータを集計する。</li> </ul>
各 部 門	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門の環境教育を推進する。</li> <li>自部門の環境活動計画の具体的な取り組みを実践し、推進する。</li> </ul>

## 4.環境経営目標と対象年度の結果・評価および環境経営計画

### 〔1〕環境経営目標と取組み内容

テーマ	単位	基準値 排出量/売上高(2021年度実績)	中期目標			目標実現のための取組	
			区分	2022年度	2023年度		2024年度
1 売上高100万円当りの二酸化炭素排出量の削減		547.18 (492,538.8kg-CO <sub>2</sub> )	目標値	541.70 (▲1%)	536.23 (▲2%)	530.76 (▲3%)	①エアコン室内温度の適正化・表示 ②照明不要時OFFの推進・表示 ③PC不要時の電源OFFの推進・表示 ④アイドリングストップの推進 ⑤運搬車両の最適シフトアップの推進 ⑥効率の良い運行ルートを選定 ⑦重機のエコモード選択の推奨(作業効率向上)
			実績	464,060.53	434,680.32	—	
2 一般廃棄物排出量の削減	t	1.04	目標値	1.02 (▲1%)	1.01 (▲2%)	1.00 (▲3%)	① unnecessary 購入品の抑制 ② 両面・裏紙印刷の活用 ③ 廃棄物分別ルールの周知・表示
			実績	1.66	1.14	—	
2 請負工事のリサイクル率の向上	%	97.46	目標値	98.43 (1%)	99.40 (2%)	100.38 (3%)	① 排出予定品目の連絡 ② 受入体制の確保 ③ 排出予定簿の記入
			実績	92.42	93.00	—	
3 上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	1,351.00	目標値	1,337.49 (▲1%)	1,323.98 (▲2%)	1,310.47 (▲3%)	① 節水表示 ② 洗車時の高圧洗浄機の活用 ③ 休日バルブ止めの徹底 ④ 雨水の利用(高圧洗浄機の水利)
			実績	1,355.00	1,539.00	—	
4 業務に関する活動計画	中間処理後のリサイクル率向上		60%	60%	60%	リサイクル率向上への取組み	
	運搬車両の燃費向上		削減活動	削減活動	削減活動	特定の車両の燃費管理・向上への取組み	
	解体工期短縮の工夫		現状維持	現状維持	現状維持	必要機材等の調達	
	解体現場近隣への配慮		現状維持	現状維持	現状維持	終業時の清掃、車両の誘導	

### 〔2〕2022年度における取組実績と評価

テーマ	計画	単位	実績	結果	取組項目	評価
二酸化炭素排出量削減	536.23		531.67	○	①エアコン温度の適正化・表示	○ 引き続き継続。
					②照明不要時OFFの推進・表示	○ 各部署にて適切に実施。
					③PC不要時の電源OFFの推進・表示	△ 引き続き継続。
					④アイドリングストップの推進	○ 定着。
					⑤運搬車両の最適シフトアップの推進	○ 「エコ運転実施項目」に基づき実施している。
					⑥効率の良い運行ルートを選定	○ 新規目的地の場合はパソコンやタブレットを使い最短ルートで運行。
					⑦重機のエコモード選択の徹底	○ 状況によりパワーモードで使用。
廃棄物排出量削減	1.01	t	1.14	×	① unnecessary 購入品の抑制	△ 一部で過剰の購入が見られる。
					② 両面・裏紙印刷の活用	○ 以前から習慣づけられているため引き続き実施。
					③ 廃棄物分別ルールの周知・表示	△ 資源物(ダンボール)の置き場使用が徐々に浸透。
請負工事のリサイクル率の向上	99.04	%	93.00	×	① 排出予定品目の連絡	○ 引き続き継続。
					② 受入体制の確保	○ 引き続き継続。
					③ 排出予定簿の記入	○ 引き続き継続。
上水使用量の削減	1,323.90	m <sup>3</sup>	1,539.00	×	① 節水表示	○ 適切に表示。
					② 洗車時の高圧洗浄機の活用	○ 高圧洗浄機の使用に併せて、水源を雨水を使用するなどの工夫もしている。
					③ 休日バルブ止めの徹底	○ 休日のバルブ止めは定着する。
業務に関する活動計画	60%		70.97%	○	中間処理後のリサイクル率の向上	○ 引き続き継続。
	数値把握		把握済	○	燃費の把握	○ 引き続き継続。
	設備、資材の調達		実施済	○	工期短縮のための必要機材等の調達	○ 引き続き継続。
	日常清掃、誘導		実施済	○	終業時の清掃、車両の誘導	○ 引き続き継続。

※購入電力の排出係数は 0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWh〔JXTGエネルギー/旧 新日本石油㈱〕及び東京電力0.475kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。

※化学物質の取り扱いはありません。尚、今後発生する場合は初年度に設けた手順に従います。

※二酸化炭素排出量の削減については「売上高(百万円)×目標値」から求めています。

〔3〕 2023年度の取組み計画

テーマ	目標値	単位	取組項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	責任者	
二酸化炭素排出量削減	536.23		①エアコン室内温度の適正化・表示	活動開始												久保田	
			②照明不要時OFFの推進・表示	活動継続													久保田
			③PC不要時の電源OFFの推進・表示	活動継続													久保田
			④アイドルリングストップの推進	活動継続													金子
			⑤運搬車両の最適シフトアップの推進	活動継続								講習(予定)					金子
			⑥効率の良い運行ルートを選定	活動継続													金子
			⑦重機のエコモード選択の推奨(作業効率向上)	活動開始													金子
廃棄物排出量削減	1.01	t	① unnecessary 購入品の抑制	活動継続												久保田	
			②両面・裏紙印刷の活用	活動継続												久保田	
			③廃棄物分別ルールの周知・表示	再検討												久保田	
請負工事のリサイクル率の向上	99.04	%	①排出予定品目の連絡	活動継続												金子	
			②受入体制の確保	活動継続												金子	
			③排出予定簿の記入	活動継続												金子	
上水使用量削減	1,323.90	m <sup>3</sup>	①節水表示	活動継続												久保田	
			②洗車時の高圧洗浄機の活用	活動継続												金子	
			③休日バルブ止めの徹底	活動継続												金子	
			④雨水の利用(高圧洗浄機の水利)	活動開始												金子	
業務に関する活動計画	中間処理後のリサイクル率向上	リサイクル率の向上	排出先の検討を継続													金子	
	運搬車両の燃費向上	特定の車両の燃費管理・向上への取組み	管理開始													金子	
	設備、資材の調達	工期短縮のための必要機材等の調達	活動継続													金子	
	日常清掃、誘導	終業時の清掃、車両の誘導	活動継続													金子	

(※1)は売上高を前年度(2021年度と同額)と設定した場合の排出量(使用量)とし、進捗の目安とする。

→算出方法:「前年度売上高(百万円)×目標値」

■は2022年度より取組活動の変更となります。

〔4〕 参考資料 - 主な環境負荷実績 -

環境への負荷項目		2021年度	2022年度	2023年度	
基準値を算出するための数値 ※売上高	百万円	900.13	856.45	817.57	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	492,538.80	464,060.53	434,680.32	
	排出量/売上高	547.19	541.84	531.67	
廃棄物排出量	一般廃棄物	t	1.04	1.66	1.16
	産業廃棄物 (請負工事)	再生t	830.38	949.85	792.07
		埋立t	21.61	77.86	59.55
		リサイクル率%	97.46	92.42	93.00
上水使用量	m <sup>3</sup>	1,351.00	1,355.00	1,539.00	

◆二酸化炭素排出量

走行距離の減少に比例し、軽油使用量が減少の影響が大きい。

◆廃棄物排出量

自社施工の解体工事では一般的に木造解体が多く、リサイクル率は90%を確保している。

◆上水使用量

在庫コンテナの一斉清掃を行ったことにより前年実績を上回る。

## 5.環境関連法規等の遵守状況の確認、違反、訴訟等の有無

### 〔1〕環境関連法規の遵守状況

法令名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則 (廃掃法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄の禁止</li> <li>取り扱う産業廃棄物の適正処理</li> <li>委託契約書の締結および保管の徹底</li> <li>マニフェストの交付および保管の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニフェスト交付状況報告書の提出(2023年6月)</li> <li>実績報告書の提出(2023年6月)</li> </ul>
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>届出の履行</li> <li>分別解体の徹底</li> </ul>	遵 法
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の測定</li> <li>請負工事の石綿含有事前調査</li> </ul>	6/6・12/5実施 都度実施
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の測定</li> </ul>	6/6・12/5実施
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の測定</li> </ul>	6/6・12/5実施
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年に一度の消防用設備等の点検</li> </ul>	2023.10.11に実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3ヶ月に1回以上の目視による外観点検</li> </ul>	別紙「フロン対象製品点検表」にて実施
浄化槽法 / 足利営業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>3ヶ月に1回の点検</li> <li>年1回の水質検査</li> </ul>	遵 法

### 〔2〕環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。  
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間においてありません。

## 6.代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

### 〔1〕取組状況の評価

環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況	環境経営目標	環境経営目標の達成状況	環境経営計画の実施状況	コメント
	二酸化炭素排出量の削減	○	○	電気使用量では前年を上回るが、二酸化炭素排出量の86%を占める軽油で減少となっている。特定車両の燃費は若干前年を上回っているものの、主な要因は走行距離の減少によるものとなる。
	一般廃棄物排出量の削減	×	○	中間処理後のリサイクル率について前回目標を「向上」から「維持」に変更した。
	請負工事のリサイクル率の向上	×	○	請負工事のリサイクル率向上では2024年度の目標として100%を上回っている。中期計画終了の際に中間処理後のリサイクル率と同じく「維持」への変更を検討する。
	上水使用量の削減	×	○	中間の調査では、前年を下回っていたが、11月に在庫コンテナを一斉点検・整備の際に洗浄を行ったため施設側での使用量が大幅に増加。ただし、設備の維持管理の面では長く使用できるため今後は定期的に行うか検討する。
	中間処理後のリサイクル率の向上 解体工事期間短縮の工夫など	○	○	中間処理後のリサイクル率では、前年を上回り、目標も達成となる。ただし、受入廃棄物の内容によりリサイクル率は変動する。その中で3年前にガラスくずの処分先に再生先を新たに追加したが、なかなか定着せず。ガラスくずの扱い量は少ないが、定着できるよう取り組む。
環境関連法規の遵守状況のチェックの結果	遵守状況に異常はありませんでした。			
外部からの苦情等の受付結果	なし			

### 〔2〕取組後の見直し

項目	変更の必要性	備考
環境経営方針の変更	<input type="checkbox"/> あり ■なし	
推進体制の変更	<input type="checkbox"/> あり ■なし	
環境経営目標の変更	<input type="checkbox"/> あり ■なし	※中期計画終了後に「請負工事のリサイクル率向上」を変更予定。

### 〔3〕総合評価

<p>2023年度では、目標を変更したことにより、本業である産業廃棄物処理業のリサイクル率向上が達成でき、全社員の努力が表れました。また、二酸化炭素排出量につきましても本社処理施設に続き、今期は本社事務所もLEDに変更し、影響はわずかですが電気使用量の削減につながり目標達成となりました。ただし、二酸化炭素排出量減少目標達成の原因は走行距離の減少によるもので、目標達成の反面、車両の稼働率に影響が表れた結果となりました。</p> <p>車両の燃費向上は未達のもの、走行による燃費は引き続き取り組みますが、積込み作業などの作業時のエンジン回転数の管理についての報告を受けており、2年後の新たな目標設定の際に取り入れる予定です。</p> <p>2024年に年式の古い大型車両の入れ替えを予定しており、今後も社員が取り組みやすい環境の整備を整え社員の取り組みやすい環境を構築していきます。</p> <p>アームロールのPTO勉強会／新明和</p> <p style="text-align: right;">2024年5月22日 須田 昇</p>
--